

立命館経済学 第十九卷総目次(昭和四十五年度)

論 説

独占段階における独自の資本制的生産様式……………	坂本和一	一……一	四七(四七)
日本における鉄道政策の展開……………	杉野 罔明	二……一(二三五)	四九(二七三)
——とくに第一次大戦後を中心として——			
『帝国主義論』の方法についての一考察……………	島津秀典	二……五〇(二七四)	八(二〇五)
——『帝国主義論』における展開と分析——			
独占段階における独自の・資本制的生産様式と資本蓄積過程……………	坂本和一	三……一(二六三)	六(三三三)
経済地理学と世界経済……………	杉野 罔明	四……三(二四九)	四九(四六五)
独占段階における独自の・資本制的生産様式の形成……………	坂本和一	五……三(二六七)	七〇(七〇四)
——八幡製鉄所を事例とする具体的分析——			
マルクス主義経済学における数学利用……………	建林正喜	六……三(二八五)	二六(八六〇)
河上肇と古典派経済学……………	杉原四郎	六……二(二八六)	四八(八八〇)
アルチュセールのマルクス主義論……………	重田 晃一	六……四(二八八)	七六(九〇八)
München 市財政の現況と問題点……………	加藤 睦夫	六……七(二九〇)	一三三(九四三)
『帝国主義論』における現段階……………	島津秀典	六……二(二九四)	一四三(九四七)

研 究

関西地方在住の炭鉱離職者の就労と生活状態に

立命館経済学(第十九卷・第六号)

二二七(二〇四九)

関する調査報告……………戸木田 嘉久 五……七(七五)——三(七五)

ウィリアム・ペティの経済理論(上)……………稲 村 勲 六……四(九七)——七(一〇〇)

研究ノート

資本論における方法と世界観(中・その三)……………梯 明 秀 一……五(五七)——八(八五)

——その残された諸問題の一つについて——
資本論における方法と世界観(中・その四)……………梯 明 秀 二……六(二〇〇)——一〇(二三四)

——その残された諸問題の一つについて——
県民所得統計の発展と県民所得標準方式(続)……………後藤 文 治 四……五(四六)——一〇(五四)

紹介

『経哲草稿』第一草稿の執筆順序……………細 見 英 三……六(三四)——八(三四)

資料

東ドイツにおける民主的土地改革と農業の社会主義化(一)……………大 藪 輝 雄 一……六(八〇)——一三(一一)

——シュトラスブルク郡の場合——
東ドイツにおける民主的土地改革と農業の社会主義化(二)……………大 藪 輝 雄 二……一〇(二三五)——一六(二九〇)

——シュトラスブルク郡の場合——
近代経済学における数学利用……………建 林 正 喜 三……八(三四)——一三(三八五)

——その問題意識と利用方法(The Review of Economics and Statistics, Nov. 1954 のシムホニウムを回顧して)——

社会主義のもとでの「使用価値と価値」(一)……………芦 田 文 夫 四……一〇(五三)——一五(五九)

社会主義のもとでの「使用価値と価値」(二)……………芦 田 文 夫 六……一七(一〇〇)——二〇(一〇三)

書評

加藤佑治著『日本帝国主義下の労働政策』……………三好正巳 三……二四(三六)——五(四五)

——『全般的労働義務制の史的究明』——

学界動向

ヘーゲル・コングレス報告……………中 埜 肇 四……三六(五五)——四(五六)

故手嶋正毅教授を追悼して

手嶋教授の人柄と学問……………後 藤 靖 四……四七(五三)——五(五五)

手嶋教授の国家独占資本主義論……………池 上 惇 四……五(五五)——八(五九)

遺稿……………手嶋正毅 四……八(六〇)——二〇(六六)

略歴・著作目録……………四……二(六七)——二七(六三)

故武藤守一教授を追悼して

追悼のことば……………末 川 博 五……一三(七六)——三(七九)

追稿……………武藤守一 五……三(七九)——六(八三)

武藤守一先生を偲んで……………関 弥三郎 五……一六(八〇)——七(八四)

清水貞俊……………山口真三 五……一六(八〇)——七(八四)

山口真三……………梯 明 秀 五……一七(八〇)——九(八六)

武藤君との同僚としての交わりにおけるその二齣、三齣……………五……一七(八〇)——九(八六)

略歴・著作目録……………五……一七(八〇)——九(八六)

相澤秀一教授退任記念号

私の履歴書……………相澤秀一 六……一〇(九一)——二〇(一〇一)

略歴・著作目録

107(1060)——111(1062)

共同研究室

昭和四五年第一回研究会「家計調査の代表性について」……関 弥三郎	1……113(113)——114(114)
昭和四五年第二回研究会「第一次大戦後における日本の鉄道政策」……杉野 因明	2……117(117)——117(117)
昭和四五年第三回研究会「銀行資本における歴史と論理」……小林 聖徳	6……113(1045)
昭和四五年第四回研究会「帝国主義論」の方法……島津 秀典	6……113(1045)
昭和四五年第五回研究会「労働組合運動の右翼的「統一」をめぐる諸問題」……戸木田 嘉久	6……113(1045)
昭和四五年第六回研究会「独占段階における独自の・資本制的生産様式」……坂本 和一	6……113(1045)
昭和四五年第七回研究会「ヘーゲル・コンGRESの報告」……中 埜 肇	6……113(1045)
昭和四五年第八回研究会「最近の私学財政の問題点」……坂野 光俊	6……113(1045)
昭和四五年第九回研究会「ドイツの都市財政の現状」……加藤 睦夫	6……113(1045)
昭和四五年第十回研究会「ペティ経済理論の構造とその性格」……稻 村 勲	6……113(1045)
本年度会員業績……	6……114(1046)